



シーズン 2 試合目の関西オープンでプロ初優勝することができて嬉しく思っています。そして、PING契約選手として優勝できファンの皆さんに胸を張って報告できることが嬉しいです。この先、優勝を重ねて賞金王を目指して、精一杯頑張っていきますので応援よろしくお願いします。  
(蟬川泰果選手)

4月13日～16日に開催された国内男子ツアー「関西オープンゴルフ選手権競技 2023」にて、PING契約の蟬川泰果選手が優勝しました。単独首位で迎えた最終日、5バーディー、1ボギーの「67」、通算17アンダーで首位を守り切り、プロ転向後初の優勝、ツアー通算3勝目（アマチュア時代2勝）を地元の関西で飾りました。G430LST（9度）ドライバーを使用する蟬川選手は、今大会終了時点でJGTOツアー部門別ランキングのドライビングディスタンスとフェアウェイキープ率をポイント換算した「トータルドライビング」にてトップに立ちました。今後も、飛んで曲がらないG430ドライバーと蟬川選手に注目です。

### 蟬川 泰果選手 クラブセッティング

ドライバー	G430 LST (9度)
アイアン	i525 (#3)、BLUEPRINT (#4-#9、PW) i230 (UW)
ウェッジ	GLIDE 4.0 (56度S、60度T)
パター	PLD ANSER (カスタム)



### 激飛びだけじゃない！操作性に優れた G430LST ドライバー



低スピン強弾道の G430LST ドライバーを使用する蟬川選手。2日目のドライビングディスタンスでは、323ヤードを記録。LSTドライバーは、操作性に優れた440ccのコンパクトなヘッドのため、距離を出したくないシーンでも、打ち分けしやすいのが特徴。蟬川選手は「今大会、距離を抑えるところは抑えられ、飛ばしたいところで飛ばすことができた。」とコメント。



カーボンクラウンでさらに低重心設計になり、寛容性が向上。

### 速いグリーンでもピタッと決まる！スピン性能に優れた GLIDE4.0 ウェッジ



56度  
S グラインド

60度  
T グラインド

距離の短かった後半9ホールで特に活躍したのがスピン性能に優れた GLIDE4.0 ウェッジ。蟬川選手は、スタンダードソールの S グラインドの56度とグラインド幅が狭く多彩なショットに最適な T グラインドの60度を使用し、フィッティングで自身の体型、スイングに合わせてオレンジ（2度フラット）のライ角に調整。最適なライ角のクラブを使用することで、方向性と飛距離のブレを抑え、よりイメージ通りの球でピンを狙うことができます。